

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

平成30年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

平成30年6月29日(金)発行 第 13 号 発行責任者:高橋 弘悦

4校合同説明会開催

今年度の進路に向けての始まりを告げる4校合同高校説明会が、26日、柳津町ふれあい館で開催されました。柳津町、三島町、金山町、昭和村の学校はほとんどが小規模校で、単独で高校説明会を開催することはできません。そこで、奥会津4中学校の進路対策委員会が共同で、毎年この時期に開催しているものです。



会には、坂下高、大沼高、川口高の地元普通科高校、会津、葵、会津学鳳の会津地区の普通科高校、若商、会農高、会工の専門高校の9高校から校長先生、教頭先生をお招きし、詳しくその概要をおうかがいすることができました。いよいよ3年生も進路実現に向けて動き始めました。しっかり目標を定めて、充実した夏休みにして欲しいと思います。

敬子先生の読み聞かせ…

25日の全校集会で、第2回目となる絵本の読み聞かせ会がありました。絵本とはいえ、奥が深く、いつも考えさせられます。

今回の物語は「おこだてませんように」

いつも、お母さんに怒られてばかりの小学校1年生の男の子。今年入学したばかりの学校でも、よく先生に怒られます。でも、怒られるのは、その男の子ばかりが悪いんじゃないんです。妹が、仕事から帰ってきたお母さんの前で大げさに泣いてみたり、友達が遊びの仲間に入れてくれなくていじわるしたので、仕返ししただけなんです。

でも、外見や口調が皆より少し乱暴に見えるからでしょうか？いつも怒られるのは彼ばかり…そして起こる側の大人からしてみれば、叱ってもしかっても同じことをするし、動



じていないような態度をするので、ますます怒ってしま
う。

でも、7月のある日、学校で七夕の短冊を書くことにな
りました。男の子は、長い間考えて先生に「はよ、書
きなさい！」と怒られながらある思いを書きました。



「おこだでませんように（おこられませんか）」と。

まだ小学1年生、ひらがなもきちんとかけないん
です。でも、その思いの短冊を先生やお母さんが
みて「はっと」気がつきました。

（この子も怒られたくて、いつもこのような行動
をしてるんじゃないんだ。）（この子もいい子で
いたい！と人1倍思っている）ということに…
そして最後、彼の心を知った大人たちは、彼を抱
きしめます。ごめんね~の気持ちを込めて。

そしたら、彼は予想外の大人らの反応に「願
いがすぐかなった！」と喜び、「神様
ありがとう！今日はいい日だ、僕こ
れからいい子になります」と素直に
喜ぶのでした。



子どもよりも、おとながその意味
を考えなければならない物語だと思
います。

一ノ瀬理汰さん 陸上県大会出場

全会津陸上記録会に出場し、女子
砲丸投げで9位になった一ノ瀬理汰
さんが、繰り上げで福島県中学校体
育大会陸上競技大会に出場するこ
とになりました。本校県大会出場者第
1号になります。

大会は、7月5日(木)いわき陸上
競技場で開催されます。時間のない
ところ大変ですが、十分な準備をし
て大会に臨んで欲しいと思います。
出場おめでとうございます！

稚魚を放流する参加者



アユ元気に育って 柳津の滝谷川に500匹放流

西山小と会津柳津学園中
の児童、生徒は21日、柳津
町西山地区の滝谷川にアユ
の稚魚約500匹を放流し
た。
同小の5、6年生と同中
の2年生計約40人が参加。
只見川漁業協同組合柳津支
部の関係者から説明を受け
た後、バケツに入れた17、
18匹の稚魚を放流した。参
加者は元気に育つことを願
いながら丁寧に稚魚を放し
た。